

2011年3月31日発行 第9号

Newsletter 臨時増刊号



Japan Association of
Public Health Nurse Educational Institutions

全国保健師教育機関協議会

会員校からのメッセージ ～東北・関東大震災に寄せて～

ご挨拶

全国保健師教育機関協議会
会長 村嶋 幸代

この度の東北関東大震災は、多くの人々の貴重な命を奪っていきました。会員校の皆様の中にも、この地震・津波によって大切な人々を亡くされた方、家と財産を失われた方々がいらっしゃいます。亡くなられた方々に深い哀悼の念を捧げると共に、ご家族やご親族、友人を亡くされた皆さまに心からお悔やみを申し上げます。

定期のニュースレターが発刊されたばかりですが、引き続き臨時増刊号をお届けします。全保教会員校が一丸となって、この未曾有の事態に、長期的な取り組みをしまいたい所存です。

ラストページに募金趣意書(東北関東大震災復興支援教育・研究にかかる募金について)を付けました。ご協力をよろしくお願いいたします。

被災地からのメッセージ

～岩手看護短期大学 鈴木るり子先生より～

【3月23日のメッセージ】

皆様

心からお礼申し上げます。

大変心強く、全保教の理事で良かったと思っております。

伝えられているように、私が長年勤めた岩手県上閉伊郡大槌町は壊滅状態です。

医療機関(開業医もふくめ)、全ての商店、銀行、役場、多くの役場職員を失いました。津波の後の火事で寺が焼けました。大槌町の中心市街地が襲われました。小学校3校(残り3校)、中学校1校が被災しました。高校は残りました。

遺体は火葬できず土葬することにしました。

ライフラインの回復のめどは立っていません。仮設住宅を建てる土地がありません。復旧作業が遅れすぎです。何とかしたい……………。

奥歯をかみしめています。津波で助かった人を避難所で命を落とさせてはいけません……………。

不足ですが、救援医療チーム、物資が入りました。



津波被害を受けた大槌町について語る鈴木先生

(2011.3.30)

復興には、保健師の地区担当制が重要さです。保健師がどれだけ、住民が安心できる活動をしてきたか、その真価が問われます。保健師教育の真価も問われてきます。

活動計画5点です。

- ① 保健師教育の確立。いつまでもないよりはあった方がよい資格教育はしてはいけない。
- ② 津波で助かった人々の「生きるを支えたい」自殺防止。調査研究、教育開発の実施。
- ③ 世界遺産の価値のある、三陸のリアス式海岸を守り、自然と寄り添った暮らしができる街づくり。
- ④ 原子力発電所はいらない。岩手県に原子力発電所を作らせなかった元田野畑村の保健婦、岩見ヒサさんの本を昨年5月に発行しました（注）。
- ⑤ 1カ月生活できる、自治体毎の備蓄基地をつくる。

注：「吾が住み処ここより外になし 田野畑村元開拓保健婦のあゆみ」 岩見ヒサ／保健婦資料館著、萌文社 1,050 円（税込）

【3月31日のメッセージ】

皆様

この度の災害に多くのご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

三陸海岸では、度重なる津波被害のために、残された人々の2次災害を防ぐために、津波文化として「津波 てんでんこ」（方言で津波がきたら、それぞれが1分1秒でも早く逃げるの意味）があります。サバイバーズギルトの抑制になればと思っています。

4月2・3日と現地に入ります。村嶋先生からのメールにもありますが、皆様がたのお力をお借りしながら、復旧に取り組んでいきます。

今回の災害で、保健師活動の真価が問われています。そして、保健師教育の真価が問われています。

保健師の「生きるを支えるとは・・・」その教育はどうあるべきか・・・・・・・・・・。
今後とも宜しく願いいたします。



ホワイトボードに地図を書いて津波の状況を説明してくださいました（2011.3.30）



被災3日後の大槌町（2011.3.14）

右下は、保健師が乗った車の絵、庁舎に戻る途中に被災、一人生還。

会員校から、被災地および 被災地の会員校に向けて、メッセージ

この度の大地震について、被害を受けられた皆様、心よりお見舞い申し上げます。なかなか救援物資が届かないことに、心を痛めております。千葉県でも応援に向かっています。寒さの中、もう少し頑張ってください。

学校の被害も大きいことと存じます。やらなければならないことが目の前にたくさんありますが、長期戦に備えて、お休みもとって体力温存をしてください。

岩手・宮城県ほどではありませんが、千葉県も津波と液状化現象・工場地帯の爆発の怖さを体験しました。まだ、余震をたびたび感じております。とても他人事とは思えません。

現在、義援金・節電や買い物の節約などの2次の応援しかできず申し訳ありません。お互いに頑張りましょう。応援します。

千葉県医療技術大学校 松井通子

- ・住民の命、学生の命を護ることも大事ですが、自分の命を護るのも大事です。無理しすぎないで下さい。1日も早い復興を祈ります。
- ・ご自身も被災され、物資もない中での活動は私共では想像できないご苦労をなさっていると存じます。お体にはどうぞお気を付けくださいませ。復興を心よりお祈り申し上げます。
- ・自らの身を顧みず頑張られておられることだと思います。どうぞご無理なさらず、少しでもやすまる時間が作れることを願っております。
- ・突然の出来事に、心身ともにお疲れのことと存じます。朝のこない夜はありません。一日も早く心休まる日を迎えられることを、心からお祈り申し上げます。
- ・私も福岡での地震を経験し、その時の保健活動に携わっていましたが、それ以上に皆様がとても過酷な状況で活動されていることを知りました。福岡ですが、私にもできることを日々考えて、できることから実行しています。また、復興を心からお祈りしています。

九州大学 鳩野洋子、前野有佳里、重松由佳子、寺岡佐和、木村一絵

このたびの大地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。状況が明らかになるにつれ、災害の大きさに一同心を痛めております。皆様が一日も早く普段の生活を取り戻されますようお祈り致します。

東京女子医科大学看護学部地域看護学 柳 修平、伊藤景一、中田晴美、大金ひろみ、犬飼かおり、遠藤直子、服部真理子

被災地の皆様、この度の震災の被害、現在の不自由な生活に心よりお見舞い申し上げます。今は先の見えない不安な生活に思えても、徐々に明るい方向に向かっていくよう私たちも何かお手伝いさせてほしいと考えています。1人の力は微力でも、みんなで集まって私たちにできることを始めていきます。どうか希望を失わないで下さい。

岡山大学大学院保健学研究科 岡本玲子、小出恵子

毎日、皆様の安否を願う気持ちでテレビや新聞を見ています。動きがとれず歯がゆい日々ですが、こんな時こそ看護の力を結集し、被災された方たち、支援をしておられる方たちの力になりたいと心から思っています。くれぐれもご無理をなさらないで。そして、今しばらくだけ、持ちこたえてください。必ず皆の気持ちが具体的な支援を形づくりますので。

愛知医科大学看護学部 坂本真理子

このたびの被災に、心よりお見舞い申し上げます。私達教員も、一保健師として、現場に飛んでいきたい気持ちでいっぱいですが、こういう状況だからこそ、自分達にできることを、精一杯取り組んでいきたいと思えます。学生に東北の被災地の生活や保健活動を伝え、災害支援のできる保健師を育てていくことが私たち教員の使命だと思っています。

心よりのエールをお送りします。明日に希望を持って乗り切ってください。

名古屋医専 保健学科 大野、安井、鈴木

宇宙のスペースシャトルに物資を運ぶ技術はありますが、隣の県の被災地へ物資を届ける技術はない、この現状に心を痛めております。日夜、被災地で救援活動をなさっている保健師とご家族の皆様へ心からお見舞い申し上げます。

くれぐれも健康に留意なさってください。何か、できることがありましたら、申し付けてください。

天使大学看護栄養学部 白井英子

この度の震災にあたり、会員校の学生および教職員の方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、尊い命が犠牲となった方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地となった各地域の一日も早い復興をお祈りしております。

聖路加看護大学 麻原きよみ、大森純子、小林真朝、留目宏美、小野若菜子

- ・被災地の方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。
- ・他の会員校に依頼したいことが具体的にあるときには教えてください。できるだけお役にたちたいと思っています。

東京慈恵会医科大学 奥山則子、嶋澤順子、高橋郁子、笹井靖子

全世界の人々が応援しています。希望の光をどうか失わないでください。義援金をお送りすることしかできませんが、今までどおりの生活に1日でも早く戻れることをお祈りしております。

愛知総合看護福祉専門学校 清水美代子

被災地の皆様および被災地の保健師養成校の皆様、被災地の全保教会員校の皆様、東北・関東大震災のお見舞い申し上げます。

困難ではありますが、今 生きていること、今 日本のいや地球の同じ空の下で生きていること、そして、今もつながっていることを、確認し共有したいと思います。

大変でしょうが、今を、そして、今日一日を生き延びてください。今日一日、今日一日を生き延びてくださいますようお願いしています。

愛知県立大学 佐久間清美

- ・被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。3月でも雪が降るなど被災地での生活をさらに苦しめている気候に言葉も出ません。何かお役に立つことがあれば精一杯応援させていただきたいと思います。
- ・発生から1週間が経ち、震災に加え放射能汚染と寒さなど大変な思いをなさっておられることと、おかけする言葉も見つかりません。日常生活が普通にできることに感謝し、自分なりに節度ある生活に徹することで、精一杯応援させていただきます。
- ・東北地方太平洋沖地震及び津波の災害にあわれた皆様に、そしてご親族の皆様に心からのお見舞いと哀悼の意を捧げます。一日も早い復旧をお祈りいたしております。まずは、ご自身のお体を大切に、休息もとりながら、復興への道を歩んでください。応援しています。

岐阜医療科学大学 橋本廣子、山田小夜子、上平公子

突然の大災害の悲惨な様子を報道で見えています。寒くて深い悲しみを抱えての日々と存じます。無理をなさらず、くれぐれもご自愛ください。学生さん、教職員の皆様のご無事をお祈りしております。

徳島大学 多田敏子

東北・北関東大震災によって被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

各会員校の先生方につきましても、当事者として、またはご家族・ご親戚やご関係者などが被災されていらっしゃる場合があるかと存じます。

心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今回、お互いに助け合うことの重要性を、一層感じました。

東京大学 村嶋幸代、永田智子、田口敦子、有本梓

このたびの東北地方太平洋沖地震による痛ましい被害には、私どももたいへん心を痛めております。厳しい状況の中ではありますが、お心を強く持ってこの難局を乗り越えていただけるよう、できる限りのサポートをさせていただければと考えています。

中部大学 石黒彩子、城憲秀、白石知子、大橋裕子、小塩泰代、藤丸郁代、山口知香枝、石黒美穂、鈴木寛之、宮武真生子

一人でもたくさんの方の無事を祈っています。自分ができることをしていきたいと思いますので、どうか諦めずに一日一日を乗り越えていかれるようお願いしています。

北海道医療大学 明野聖子

被災されました皆様、および、被害を受けられた学校に、心よりお見舞い申し上げます。

当校教員全員、被災地の復興を応援し、できる限りの支援をしていきたいと思っています。

被害状況を知るだけで、心が痛みますが、私たち一人一人が、復興を信じて、それぞれの役割をしっかりと行っていくことが大切だと思っています。必ず一緒に頑張ります。

東京医療保健大学 佐々木美奈子、渡會睦子、松坂由香里、伊藤美千代

この度は地震と津波で大変大きな被害に遭われている方が多くいます。会員校にメールをしてみました、返信がなく、どのような状況か不明なため安否を心配しております。

テレビ等での画像は今まで私達が体験したことのない画像であり、どのように、何を支援していくと良いのか戸惑うばかりです。

多くの方が何かをしたいと思っていてもどのように行動すれば良いのかうまく行動に出来ないのが現実であると思います。

遠慮なく声をかけて下さい。私達はいざという時にすぐ動けるようにしています。

また、みんなで協力して、明日へ進みたいと思います。

北海道保健看護大学校 上田まゆみ、越膳杏子、小川克子、桜井美奈子、安藤陽子

このたびの未曾有の東日本大震災のニュースを見るたびに心が痛み、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。現地では、まだまだ混乱の状況にあり、大変なことと思います。学生・教職員の皆様そしてご家族の皆様の安否はいかがなものかとお察しいたします。

身体的・精神的にもたいへんお疲れだと思いますが、お互いに助け合い、支えあって、私たちにもできることでお手伝いしたいと思います。

長崎県立大学シーボルト校 藤丸知子、中尾八重子、稗園千砂子、吉原麻由美、岩永洋子

被災にあわれました会員校の先生方及び学生の皆さん

どんなに辛い思いをし、心を痛めておられるのかと思うと掛ける言葉も見つかりません。

私たちに来る事は何かを今探っています。愛知県看護協会を始め、日本看護協会、日本看護系大学協議会、私立看護系大学協会など所属する様々な組織を通して微力ながら支援していく所存です。

どんな状況にあっても希望を見失わないでいてほしいです。

藤田保健衛生大学 医療科学部看護学科 山本澄子、北村眞弓、世古留美、杉山希美、船橋香緒里

- ・この度の大震災において、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々にご遺族の皆様に深くお悔やみを申し上げます。一日も早い被災地の復興をお祈り申し上げます。
- ・「大変な状況の中、被災された皆様のご健康が気がかりです。ただ頑張って・・・と祈るばかりです。会員校として私どもにも出きることは何でもしたいと思っていますので、どうぞお申し出ください。
- ・支えあいの精神で乗り越えられますように、お祈りしています。
- ・厳しい現実の中、生かされている命を大切になさってください。
- ・必ず復興の日が来ます。鹿児島島の地より応援しています。
- ・報道で震災のことが流れるたびに、何かできることはないかと考える毎日です。
- ・遠くで見守ることしかできませんが、どうぞ皆の力で今を乗り越えられますよう祈っております。

鹿児島医療技術専門学校 竹脇、濱川、森永、東、富安、垂水

東北・関東大震災の被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈りしております。

杏林大学 大木幸子、山口佳子、太田ひろみ、森田桂、加藤昌代

- ・この度の大震災の被災に対し、心よりお見舞い申し上げます。
- ・住民の方々への支援、学生・ご家族様の支援、なにより先生方のご家族様ご親族様方々の支援と心を痛めながらも、毎日ご活躍されていることとお察し申し上げます。研究・教育活動にも大きく影響されていると思いますが、今先生方が行っていらっしゃることは、学生には大きな教育となっていくことと信じております。どうぞお身体をご自愛頂きますよう、また先生方、住民の方々が、1日も早く落ち着いた生活が取り戻せることができるよう、心よりお祈りいたしております。

帝京大学 岸恵美子 吉岡幸子 野尻由香 望月由紀子

このたびの大震災により、私たちの想像を超える大きな悲しみに遭われた方や、辛く厳しい状況におかれた方が、多数おられると思うと、本当に言葉がありません。心からお見舞い申し上げます。一人でも多くの方のご無事をお祈りするばかりです。

滋賀県立大学人間看護学部地域看護学領域 飯降聖子、植村小夜子、松井陽子、馬場文

西日本の我々は、元気に明るく日常生活を継続することが、災害復興に役立つと考え、被災地域の皆さんの健康と安全を祈りながら過ごしています。義援金はもとより、やれるべきことは何かを日々考えています。困難の実態や具体的な要望を教えてください。

愛媛県立医療技術大学 野村美千江

頑張ろう、日本！

自分にできることを考えて一緒に頑張っていきます

日本赤十字看護大学 澤井美奈子

私たちに出来ることがあればご連絡ください。出来るだけの支援をさせていただきます。

高知大学 尾原喜美子、高尾俊弘、齋藤美和、杉本加代

会員校の先生方へ

このたびは、たいへんな震災の被害にあわれましたことを心よりお見舞い申し上げます。先生方ご自身、ご家族、学生の皆さまの安否と震災後の日々の生活を気にかけております。

教育機関におきましては、卒業生を送り出す3月、新入生を迎え入れる4月といった大切な時期でもあり、言葉にならないご苦勞をされておられることと存じます。

ご不便な中とは思いますが、くれぐれもご自愛くださいますようお願いいたします。一刻も早い復興をお祈りし、私たち一人一人ができる支援を行ってまいりたいと思っております。

大阪府立大学 上野・和泉

一日でも早く、先生方に笑顔が戻りますように願っております。何かできることはないでしょうか。古い訪問力バンが50個ほどあります。簡易血圧計と聴診器もあります。

まだまだ大変な状況が続いていると思いますが、全国の多くの仲間が祈り応援しています。

藍野学院短期大学専攻科 柴田、太田、朝山

今回の甚大な被災にとても心が痛みます。

大変な状況の中でも、被災された方々が力を合わせて前へ進もうとしている姿に、私たちが反対に励まされます。被災された方々のお力になりたいという気持ちでいっぱいです。

九州看護福祉大学 福本久美子、久佐賀真理、中川武子、坂口里美

日々ニュースで被災者の方々の様子が伝わるたびに、私たちでもできることはないかと、改めて無力さを感じます。先生方も被災されておられますが、若い生徒さんたちももしかしたら命を落とされた方もあるのではと、重ねて先生方のご苦勞、ご心勞をお察しします。適切な言葉が見つかりませんが、頑張りましょう。

日々のメディアからの情報より、被害の大きさを感じております。身近に何か出来ることはないかと思うばかりです。皆様の力を信じております。

岐阜大学医学部看護学科 後閑、石原、若杉、額綱、玉置

私は宮城県出身で両親、親せき、友人が被災しました。命があるだけでもありがたいと思いますが、ライフラインが復旧せず不便な生活を直に聞いているので、心よりお見舞い申し上げます。

広島国際大学 高橋幸子

このたびの大地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

状況が明らかになるにつれ、多くの施設や機関が被害にあわれ、災害による生活の破綻状況の大きさに心を痛めております。

復興のためにやらなければならないことがたくさんあり、また、長期にわたるため、お休みをとりながら、体力温存なさってください。

現在、義援金・節電などの応援しかできず申し訳ありません。

お力を落とさずに、生き抜いてください。微力ながら、応援しています。

福岡県立大学看護学部 尾形由起子、山下清香、小野順子、檜橋明子

大地震の被害に遭われた会員校の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

大変なご苦勞があるかと存じますが、被災された会員校様の日も早く復旧を心よりお祈り申し上げます。

鹿児島大学 波多野浩道、大友優子、兒玉慎平、森隆子

未曾有の震災に遭遇された中での復興作業は大変なことと存じます。

お見舞いの言葉ありませんが、一日も早い復興をお祈りしています。

私どもにできることがあれば要望をお聞かせください。

富山県立総合衛生学院 高木美智子

被災された方々に早期復旧・復興と健康を、亡くなられた方々にご冥福をお祈り申し上げます。
保健師養成校の教員・学生の皆様へ、頑張りすぎないようにきちんと休養を取ってください。

新潟医療福祉大学 宇田優子

現在の各会員校での動き、各会員校が考える 支援の必要性、全保教として取り組むべきこと

甲南女子大学看護学科

甲南女子大学では大学全体で支援体制を短・長期的に取り組むことになりました。早速、学長メッセージを発信、教員・学生の募金と合わせ、地域商店会の協力による計画的な募金・物資輸送等の話し合いを開始いたしております。

九州大学

動き→特になし

取り組むべきこと→被災地の会員校の教育において、他会員校でカバーできることがあれば（あるのかはよくわからない）集約して検討してはどうか。

岡山大学大学院保健学研究科

1. 大学の動き：医療系キャンパス内に東日本大震災医療支援対策本部が設置された（3/16）被災地域への医療支援、募金。物資支援等の協力・支援活動を開始（病院から医療チームの第一陣が派遣された。今後順次交代で赴く予定。）各方面から寄せられる協力要請、あるいは被災地への各種支援の申し出等に対応
2. 全保教として取り組むべきこと：全保教として募金を集める（様々な募金が始まっているので、全保教の場合は、目的を特定した募金が良い）
3. 支援の必要性：少し落ち着いた状態になれば避難所をまわり、炊き出し&健康相談（学生ボランティアのコーディネート）など

愛知医科大学看護学部

<本学での動き>

- ・医療チームが愛知県から派遣
- ・学生の安否確認
- ・被災された認定看護師としての研修生3名への具体的な支援を検討
- ・本格的な募金活動
- ・救急看護・災害看護を専門とする教員を中心に情報収集、支援を行う予定

<全保教が取り組むべきこと>

- ・被災された保健師やこれから支援に向かう保健師をサポートする体制
- ・被災された保健師教育機関への支援（被災学生、教員）

名古屋医専 保健学科

- ・今のところ学校としては、ボランティアや義援金集めについて検討しています。（取り組むべきこと）
- ・災害支援に携わっていただいている保健師の皆様方が、自分の状況を脇において頑張ること、保健師自身が燃え尽きないようにメンタル面のフォローが必要かと思えます。また、新人保健師の方々においてはとても荷が重くプレッシャーを感じていらっしゃると思えます。保健師へのメンタルフォローの必要性。
- ・保健活動に必要な情報支援。専門雑誌、参考資料、文献、事務用品、訪問用品の送付。現地との情報交換と間接的支援。 など

岐阜医療科学大学

当校においては3月15日卒業式を行ないましたがその時点から、義捐金の受付を開始しました。

愛知総合看護福祉専門学校

この取り組みもありがたいと思います。こういったメッセージが希望の光になれることを信じています。

愛知県立大学

＜本学の動き＞

3月17日の卒業式終了後、卒業生が中心になって会場等で募金活動をし、「平成22年度愛知県立看護大学卒業生・家族・教職員有志」として、日本赤十字社に義援金の送金をしました。

徳島大学

- ① 学生の安否確認を行いました。
 - ② 大学で募金活動をしています。
 - ③ 看護協会、県、大学と連動して支援協力者を出張扱いで行けるようにしています。既に出発しています。
 - ④ 全保教として、保健師教育カリキュラムに災害看護を組み込み、何年か前に作成された教育内容の検証をする。
- 当面の募金による支援、夏季研修時にも参加費の一部を募金とする。

東京大学

- ・動き：災害時の保健師活動に関する情報収集・提供（個別に可能な範囲で）
- ・支援の必要性：今のところなし
- ・全保教として取り組むべきこと：
 - ①災害時の保健師活動に関する情報収集・提供
 - ②災害時の公衆衛生看護活動に関して教育すべき事項の整理・見直し、講義・演習内容の検討（例：災害看護活動の教育内容や方法に関する情報収集・とりまとめ）
 - ③津波被害・放射線被害に対するケアの方法
 - ④サバイバーズ・ギルトに対するケア方法
 - ⑤震災後の町再建方策に関する知見の蓄積（看護の立場から）

中部大学

会員校として何ができるのか、現時点では、具体的なことはわかりませんが、要請をいただければできる限り対応させていただきます。

たとえば、難を逃れた東北・関東地方の学生さんの一時的な国内留学などが今後必要になるのでしょうか。学内での了解を要しますが、全保教としては、そのような取り組みが可能なのではないかと考えます。

被災地の方々が具体的にどのような支援を必要とされているのかについて、全保教から情報提供をいただけるとありがたいです。また、支援のために現地入りされた保健師さんや他の方々から現地の様子をお聞きし、本学としても何かできることを考えていきたいと思っています。

北海道医療大学

- ・住民や支援者に役立つ正確な情報提供（健康管理、生活支援、精神的ケア）
- ・保健師派遣、救援物資提供やそのシステム整備
- ・災害支援に従事している保健師（看護職員）の後方支援

北海道保健看護大学校

- ・学園全体で募金を募っている

長崎県立大学シーボルト校

- ・被災された会員校のニーズを把握して、物質面等での支援。
- ・組織的には会員個人による募金活動。
- ・講義に関しては近隣県・近隣校での場所等の提供。
- ・臨地実習に関しては、都道府県を窓口を受け入れ態勢の検討も必要かと思っています。（今後、講義や臨地実習の問題が出てくるのではと思います。）

東京医療保健大学

当校教員の渡會が仙台市若林区の保健師と連絡を取り、直後の救援に参加しました。継続でご参加くださる方を探しております。3月22日以降、仙台市若林区に入ることができる方がいらっしゃいましたら、東京医療保健大学 渡會（m-watarai@thcu.ac.jp）までご連絡ください。（状況は③欄に記します）

- ・ 現在、大学教員の支援枠を作り、仙台市の本部と話し合いし依頼を受け、仙台市若林区（仙台市では最も地震・津波などの被害が大きかったところ）に入っています。
- ・ 支援時には、寝袋・自分の食糧・身の回りの準備をし、どこの社会福祉協議会でもよいので、ボランティア活動保険の手続き平成22年度700円、平成23年度700円の手続きをしてきてください。
- ・ 電気・水道は通っています。

継続いただける方がいない場合、若林区に教員枠は打ち切りをお願いする予定です。

藤田保健衛生大学 医療科学部看護学科

- 1) 物資、人的支援は他の様々な組織からされています。保健師教育機関協議会としてすべきことは、万が一4月以降学生が教育を受ける権利が保障されているか？
もし、本人やご家族が希望するなら他の地域の類似教育機関で単位認定は出来ないか。

聖路加看護大学

現時点では、大学としての今後の体制について検討中です。
被災地の会員校への支援については、まず現状を把握した上で、全保教としてできることを検討してはいかがでしょうか。

日本赤十字看護大学

本学では、日赤の派遣看護師として石巻赤十字病院への教員派遣がはじまっています
保健師の派遣は行政単位なので、大学からも派遣や後方支援に協力できるネットワークが必要だと感じました

杏林大学

被害状況や、現在困っていること等の情報を取りまとめ集約し、上記情報をメーリングリストで発信し、支援ニーズと支援提供がマッチングできるようにする。

帝京大学

- ・ 大学および教員が教育活動に必要な物品・資料等が、被災に有った場合の貸出等。
- ・ 会員校の被災の状況

滋賀県立大学人間看護学部地域看護学領域

- * 当校では、募金活動が行われています。
- * 全保教として、被災地にある大学で今後どのような支援が必要とされていくのか、情報収集や情報提供についての検討をお願いいたします。

藍野学院短期大学専攻科

卒業生を中心に実習でお世話になった岩手県への義捐金活動を進めています。学生、卒業生、友人へと声かけをしています。

九州看護福祉大学

- ・ 本校では、九州各県のケアリングアイランド構想事業の中で、学生自身による募金活動を開始しています。また、女子サッカー部は自主的な募金活動を行いました。
- ・ 今回の被災に何か出来ることがあれば、行いたいと思っています。
全保教として、保健師としての技術支援か募金、物資の提供など何か行うことができればうれしいと思います（行政は県単位で動いていますから）。

鹿児島大学

本学の支援として、医学部・歯学部附属病院 DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣準備や援助物資を運ぶ水産学部附属練習船「かごしま丸」の派遣が決定しています。また、本学教職員および学生による義援金の募集をしています。

富山県立総合衛生学院

- 支援活動への派遣 — 専任教員を災害支援チームの一員として派遣（3/16～21、4/9～14）
- 全保教として取り組み — 被災地の養成所について、指定規則改正に伴う申請手続きの猶予を国に働きかけ

愛媛県立医療技術大学

* 今やれること

- 被災地の会員校の先生方から、実態・具体的な意味情報を集めること
- 情報を共有する場をネット上に作ること
- 教科書等をなくした学生の支援の必要性を把握すること
- 保健師になろうとしている被災学生に対し、奨学金などの支援の必要性を検討すること

* 中期的にやるべきこと

- 津波災害時の人間・地域の反応や効果的な支援についての文献検索
- 放射線災害時の当該職員・救助関係者・地域住民への支援に関する文献検索
- 壊滅的被害を受けた地域の再興に役立つ保健師活動の実質的支援方策

* 長期的にやるべきこと

- 災害保健活動の要素・枠組みの検証、教育方法の開発

大阪府立大学

動き：①看護学部のありますキャンパスの事務所に、義援金募金箱を設置しております。

②大阪府より、岩手県からの要請を受け、医師や看護師の医療チームを派遣するにあたり、看護学部に依頼があった旨の連絡が学部長よりありました。詳細が決定後に再度連絡がある予定です。

支援の必要性：

- ・あると考えます。
- ・具体的な支援の内容につきましては、例として、教育する上での不足物品の送付等があげられますが、ニーズが不明なこと、輸送手段が未だ確立されていないことより、検討が必要と思います。

全保教として取り組むこと：

- ・被災地の教育機関のニーズ（物的、人的）の把握
- ・ニーズへの支援
- ・今後の災害時に向けての支援体制の確立

広島国際大学

ボランティアの要請があれば応じる。（私は長く宮城に住んでいたため土地勘があります。土地勘のある専門職ボランティアの要請があれば全保教も手を挙げてほしい。現場の経験が長い、現場を離れて間もない教員は働けるのではないかと思います）

福岡県立大学 看護学部

<本学での動き>

- ・学生の安否確認
- ・募金活動
- ・救急看護・災害看護学を専門とする教員を中心に情報収集、支援を行う予定

<全保教が取り組むべきこと>

- ・被災された保健師やこれから支援に向かう保健師をサポートする体制
- ・送付いただいた師長会が作成した保健師活動マニュアルを見直し、教育カリキュラムのなかの「災害看護」教育内容を検証をする。

新潟医療福祉大学

【現在の動き】

新潟県内に避難された方々の避難所において、健康支援を大学教員ボランティアを募り実施しています。

【全保協として取り組むべきこと】

会員校の4月以降の保健師教育への支援や、教育教材など教育に関する支援を検討してはいかがでしょうか。

災害時の公衆衛生看護活動、 保健師教育について有用な情報

- 厚生労働科研で作成した、災害時のボランティア活動に関するツール集のホームページ
<http://kiki.umin.jp/>
 - ・津波特有の災害被害の特徴や看護の必要性をまとめる
 - ・3月15日より愛知県から保健師が被災地に派遣開始（まずは状況調査）
- ①避難所での心の支援
 - ②地域のエンパワメントが保健師ならではの活動だと思います。
 - ③公衆衛生ねっと (<http://www.koshu-eisei.net/>) が、災害時の公衆衛生に役立つ情報を集約したサイト「災害時の公衆衛生」
<http://www.koshu-eisei.net/saigai/index.html> を立上げています。
公衆衛生関連、母子保健関連、栄養関連、医療関連、原子力関連、ボランティア関連、震災全般に分類されています。
- 医療機関や自治体から多くの専門職が現地支援に向かっていますが、戻ってきた方々の心のケアが、今回もかなり重要だと考えられます。私どもが現地入りして救援活動に参加することが難しい現時点では、支援に参加された専門職の方々への支援を検討することが喫緊の課題だと考えています。
- ラ・レーチェ・リーグ La Leche League Japan : 災害時の母乳育児支援に関する情報
<http://www.lll-japan.org/binfo/index.html>
- 災害での保健師の活動を発表する場を設けることで、実践が受け継がれるのではないのでしょうか。
- 3月15日より福岡県から保健師が被災地に派遣開始されました。
大学からも派遣や後方支援に協力できるネットワークができればと感じています
- 【保健師教員枠として仙台市の支援活動に参加をしている教員より】
保健師活動の場合、各県の行政の派遣はあっても、教員枠は特にありませんので、今後、現場支援を考える場合は、十分な検討が必要と思われます。
大学教員枠は後ろ盾がないので、寝袋から持っていく支援物資まで全部自費です。ボランティアなので、各県が派遣の費用をある程度持つと同様に、被災地からは支払いはありません。費用について何か考えられると支援に行く人も増えるのではないかと思います。

- 日本看護協会に災害対策本部が設置されました。災害支援ナースの派遣や義援金募集のことが書かれています。
<http://www.nurse.or.jp/home/saigai/saigai.html>
<http://www.nurse.or.jp/home/saigai/qa.html>
- 災害時は急性期にかかわる看護師はもとより、当事者である自治体保健師は本当に疲労困憊します。自治体の保健師は各自治体とも多数採用されているわけではないので、代替が必要になってくるかと思えます。他地域から派遣された保健師にも限界があり、中長期的に見て保健師以外の地区組織をどれだけ有効活用できるかにかかっていると見えます。平常時どんな保健師活動をしているかという事が、見え隠れします。
 保健師の危機管理意識の必要性と、保健師にとってのサポーター育成法をぜひとも学ばせたいところです。
- 復興期に入った段階で被災地の会員校の経験を集約・統合し、今後の保健師教育機関や保健師活動としての危機管理（平常時の備え、災害時の対処・対応等を含む）に活用できるようにしてはいかがでしょうか。
- 全保教中国四国ブロックでは、平成 16-17 年度に教育検討委員によって、災害看護（1 単位 15 時間）の授業案を検討し、平成 18 年 3 月に「保健師教育における災害看護の指導案」として報告書（電子ファイルあり）を発行しています。
- 自衛隊所属の卒業生は早くから被災地へ派遣されました。大阪府、大阪市、堺市、高槻市など行政の保健師たちが応援に出向いています。
- 災害時の保健師の役割、保健師だからこそできること（担当地区の住民の安否や道路等の安全について情報収集できること）がいかに重要であるか教育すること。
- 震災に支援に携わった保健師の意見をもとに、既存のマニュアル等の充実を図る。
- 支援から戻った職員によれば、日ごろの公衆衛生看護活動が試される場であった。切り口は災害であっても、保健師が行う活動の根底にあるものはブレることはないとの声がありました。

東北関東大震災復興支援教育・研究にかかる募金について

全国保健師教育機関協議会
会長 村嶋 幸代

このたびの東北関東大震災は、多くの人々の貴重な命を奪っていきました。全国保健師教育機関協議会の会員校の皆様の中にも、この地震・津波によって大切な人々を亡くされた方、家も財産も失われた方々等がいらっしゃいます。

亡くなられた方々に深い哀悼の念を捧げると共に、ご家族やご親族、友人を亡くされた皆さまに心からお悔やみ申し上げます。

被災地には、全国から保健師が駆けつけ、不眠不休の努力をしています。また、被災地から避難された方々を各地で受け入れ、支援に当たっています。

正に国難とも言える難局に当たり、保健師がどの様に活動したかを記録し、地域と生活を再建していく方法を明確にし、知見を蓄積していくことが、全国保健師教育機関に課せられた責務だと思います。

特に必要なのは、今回の津波で助かった人々が「生きる」ことを支え、自殺を防止するための研究や教育開発です。特に、今まで明らかになっていない「津波の被害者に対するケア方法」を解明することが必要です。

全保教の理事・監事でメール審議し、下記について全員の賛同を得ました。

- ①東北関東大震災の復興に関わる調査・研究のプロジェクトを設立し、教育方法を開発する
- ②上記を遂行するための口座「全国保健師教育機関協議会 災害支援募金口」を開設する。

具体的には、東北地方の会員校や全国からの希望者を核に、被災地域のケアや復興に長く関わり、その中で、地域の再建・復興に対する支援方法を開発していきたいと考えています。集まった募金は、プロジェクトの運営のみに使用いたします。是非、ご支援いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

〈募金窓口〉

銀行名	三菱東京 UFJ 銀行
支店名	本郷支店 (店番 351)
口座番号	普通預金 0073343
口座名義 (漢字)	全国保健師教育機関協議会災害支援募金口 会長 村嶋幸代
(カナ)	ゼンコクホケンシキョウイクキョウギカイ サイカ イシエホキョウチ ムラシマサチヨ

※金融機関の窓口からのお振込の場合は漢字の口座名義を記入ください。

ATM やネットバンキングを使つての振込の場合は、かの口座名義をご使用ください。(銀行の都合上)

注) カナの名義には「カイヤウ」の記載がありません。

事務担当：一般社団法人全国保健師教育機関協議会 事務局

竹野 由香 〒120-0021 東京都足立区日ノ出町 25-6 パーソナルオフィス 21 内

E-mail: japhnei-office@umin.ac.jp

中尾裕美子 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル内

TEL03-3352-4281 FAX03-3352-4605 E-mail nakao@jpha.or.jp